

## 令和7年第7回大仙市教育委員会定例会議事録

令和7年第7回大仙市教育委員会定例会を令和7年7月25日(金)午後3時30分から大曲庁舎3階大会議室において開催した。

### 出席者

教育長	伊 藤 雅 己
委 員	小笠原 晃
	玉 井 有 紗
	伊 藤 晴 通
	伊 藤 勝 良
	高 橋 緑

説明員	事務局長	佐々木 泰 宏
	次長兼教育総務課長	小 松 大
	次長兼教育指導課長	菅 原 清 三
	施設管理課長	高 橋 隆 伸
	学校給食総合センター所長	佐 藤 マ キ
	次長兼生涯学習課長	八 嶋 洋 晃
	次長兼総合図書館長	伊 藤 ひろみ
	次長兼総合市民会館長	品 川 雄 喜
	参事兼教育研究所長	牛 木 豊
	花館公民館長	枝 川 元
	神岡中央公民館長	大 野 暁 佳
	中仙公民館長	大 阪 文 博
	協和公民館長	阿 部 成 吾
	仙北公民館長	竹 村 智 子
	太田公民館長	太 田 敬

書 記	教育総務課参事	大 釜 弘 靖
-----	---------	---------

付議案件

- (1)議案第 3 4 号 大仙学校運営協議会委員の任命に関する臨時代理について(教育総務課)
- (2)議案第 3 5 号 教育に関する事務の点検・評価報告書案について  
(教育総務課)
- (3)議案第 3 6 号 大仙市教育支援委員会委員の委嘱について (教育指導課)

伊藤教育長

皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、全員御出席です。書記に、大釜参事を指名します。

ただいまから、令和7年、第7回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

はじめに、7月1日付けで教育委員に任命されました伊藤晴通氏と高橋緑氏を紹介します。伊藤晴通教育委員は、西仙北地域に在住で、長年にわたり医師として地域医療や子供たちの健康のために携わっておられる方です。また、高橋緑委員は神岡地域在住で、長年にわたりスポーツ推進委員を務めるとともに、交通安全母の会や大仙市消防団の一員として活躍されている方です。お二人からは、これまでの豊富な経験と広い見識から、本市教育行政へのご意見やご提言をいただけるものと期待しております。

では、ここで、お二人からご挨拶をお願いいたします。

はじめに、伊藤晴通委員、お願いいたします。

伊藤晴通委員（あいさつ）

伊藤教育長

続いて、高橋緑委員、お願いいたします。

高橋緑委員（あいさつ）

伊藤教育長

ありがとうございました。

改めまして、伊藤晴通委員、高橋緑委員、よろしくをお願いいたします。

それでは、内容にはいります。報告の1ページをご覧ください。

最初に学校教育関係です。小・中学校は7月20日から夏休みにはいっております。学校訪問については、資料の7校を訪問しております。中学校の全県総体については、団体優勝のみ掲載しております。多くのチーム、選手が東北大会出場を決めており、上位大会での活躍が期待されます。

研修関係では、資料の通り実施しております。1つ目の市町村教育長会議は、オンラインにより急遽開催された会議で、いわゆる給特法の改正に伴う内容や今後のスケジュール等について文科省から直接全国の市町村教育長への説明がありました。報道等でご存じかと思いますが、現在4%である教職調整額が段階的に10%まで引き上げられるなど教師の処遇改善などが実施される予定とのことですが、市教委には「業務量管理・健康確保措置実施計画」策定や公表が求

められるなど、働き方改革の一層の充実を図るための取組が求められていると  
のことでした。関係の情報を踏まえ、適切な対応ができるよう進めてまいります。  
7月12日の市校長会では、学校評価や業務改善、不祥事防止等についてお願い  
しております。また人事評価制度を踏まえた校長面談を実施しております。

社会教育関係では、社会教育委員と生涯学習推進連絡協議会委員の合同会議  
がありまして、第4次生涯学習推進計画を踏まえ、関係事業について評価してい  
ただいております。

部局との連携行事については、資料の事業等に参加しております。

児童生徒の安全・安心面では、感染症の大きな流行や大きな事故等はありません  
でした。

その他にあります行政視察については、市議会の教育厚生常任委員会の委員  
のみなさまの視察に、私を含め所管する部の部長が同行しております。主な視察  
先は、閉校した県立高校を改修して、コワーキングスペース、フィットネス、  
子育て支援施設などを備えた複合施設、山形県村山市にぎわい創造活性化施設  
「リンク ムラヤマ」、閉校した中学校を利用して公民館、保育所、社会福祉協  
議会等の機能を集約した栃木県矢板市の「泉きずな館」、同じく矢板市の老朽化  
した文化会館と体育館を統合した「矢板市文化スポーツ複合施設」の3施設です。  
いずれも、機能の複合化や公民連携といった新たな視点からの施設で、公共施設  
の老朽化や学校再編に伴う閉校した校舎の利活用といった課題が見えている本  
市にとって、有意義な視察となりました。情報共有しながら今後の施策に生かし  
てまいります。

以上で私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきます。

まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

それでは、2ページをご覧ください。

資料にあげておりませんでしたが、本日、お二人の新たな教育委員にご出席い  
ただいておりますが、7月1日に辞令交付が行われております。

そして、本日開催の定例会の記載ということになります。

教育総務課は、以上です。

伊藤教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課は、12項目記載しております。

それでは、教育指導課から3点についてご報告申し上げます。

1の「教育委員会訪問」については、前半の訪問日程を終え、7月17日までで7校に訪問いたしました。後半は9月24日からスタートする予定となっております。教育委員の皆様には今後も、訪問への御協力をよろしくお願いいたします。

3と9の「県南吹奏楽コンクール」と「県吹奏楽コンクール」についてであります。県南大会で金賞を受賞した中学校が県大会に出場しております。7月31日に行われる中学生の部には大曲中学校、7月27日に行われる中学生小編成の部には大曲南中学校、協和中学校、中仙中学校、仙北中学校が出場します。各校の素晴らしい演奏を期待しております。また、7月20日に行われた小学校小編成の部では、金賞を受賞した中仙小学校が東北大会に出場いたします。

11と12の「大仙ふるさと博士企業見学デー」と「コロンブスの卵 アキタ・デ・サイエンス」については、今年度も各事業所等から御協力をいただき、実施いたします。

7月24日の企業見学デーでは、エイブリック株式会社にて、電子部品等製造を見学、7月30日は、株式会社大仙バイオマスエナジーにて、バイオマス発電の見学を行う予定です。

7月29日の「コロンブスの卵 アキタ・デ・サイエンス」では、秋田県立大学電動化システム共同研究センターと秋田空港を見学する予定です。

8月に入ってから、農業体験デーも開催予定です。

教育指導課からは以上です。

伊藤教育長

次に、施設管理課長、お願いします。

施設管理課長

施設管理課からは、工事と業務委託についてであります。

はじめに工事関係であります。1番の高圧受電設備改修工事は東大曲小学校、大川西根小学校、中仙中学校で実施するもので、2番の大曲中学校昇降機改修工事、3番の西仙北中照明LED化更新工事、4番の大曲中学校駐車場舗装工事、それぞれが記載のとおり6月30日から着工しております。

次に業務委託関係であります。年次計画により実施しております床ワックス清掃業務委託につきましては、今年度は小中学校あわせて8校で実施予定であります。なお、記載のとおり履行期間を長めに設定しておりますが、いずれの学校においても夏休み中の実施を予定しているものであります。

各工事及び業務につきましても、安全に十分に配慮しながら、円滑に進めてまいります。

以上でございます。

伊藤教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターでは3項目あげさせていただきましたが、1項目目の「大曲仙北学校給食研究会・学校給食協議会合同研修会」についてご説明いたします。

大曲仙北学校給食協議会は、給食センターなどの職員を対象とした組織で、学校の給食関係の教職員が対象となる学校給食研究会とは栄養教諭が両方の会員となるため合同で研修会を実施しています。

例年、学校給食に地元産の野菜や果物を取り入れた新しい献立づくりや食育の授業のヒントとするため農家や工場の視察などを行っておりますが、今年度は、昨日、太田地域の山ねこブルーベリー畑を視察しております。

視察の際には、生産者やJAの職員からお話を伺いました。

今回、視察したブルーベリー農家は秋田県学校給食会に冷凍ブルーベリーを出荷しており、ブルーベリージャムなどとして学校給食で提供されています。

学校給食総合センターからは以上です。

伊藤教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

資料3ページをご覧ください。

生涯学習課は記載の11項目記載しております。

今月も各種団体等の総会や役員会が多く予定されている月となりますが、そのうち、7番の「社会教育委員」並びに「生涯学習推進連絡協議会委員」合同会議についてご説明いたします。

当会議では、令和4年度から令和8年度までの5ヵ年を期間として策定した「第4次生涯学習推進計画」に基づき、令和6年度に実施した各種事業について、有識者である各委員から各項目について事前に評価コメントをいただき、その内容について意見交換を行っております。

評価項目ですが、大項目として、「生涯学習の推進」と「芸術文化活動の振興」の2項目となりますが、その項目に基づき実施した様々な事業における内容と実施したことで見えてきた成果・課題をお示しし、それに対して、委員の皆様からご意見をいただきました。

ご意見のなかには、高く評価していただいた事業もありましたが、一方で、事業の取組内容に工夫が必要ではないかとの提案型のご意見もいただいております。そうした委員の皆様からの貴重なご意見につきまして、関係機関と情報を共

有し、今後の生涯学習事業の推進に役立ててまいります。

生涯学習課からは、以上でございます。

伊藤教育長

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館では3項目記載しております。

そのうち、1項目目の7月2日に開催された「大仙市立図書館協議会」について説明いたします。

令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間の任期で任命されました12名の委員の皆様から、令和6年度図書館運営、事業報告、令和7年度図書館運営、事業計画、4次子ども読書計画、令和7年度図書館情報システムの更新についてなどを案件として、意見や感想などをいただきました。協議会で委員の皆様からいただいご意見などを参考にしながら、今後の図書館運営や事業に取り組んでまいりたいと考えております。

総合図書館からは、以上です。

伊藤教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館は、3項目記載しております。

2番の「大仙市音楽祭2025」につきましては、11月8日から9日の開催に向けまして準備を進めております。

3番の「海上自衛隊東京音楽隊コンサート」につきましては、7月20日(日)に大ホールで初めて開催されまして、多くの来場者を迎え、吹奏楽国内最高峰の演奏を堪能しております。

総合市民会館からは、以上です。

伊藤教育長

次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長

花館公民館は、4項目を記載しております。

3番目になります。

49回目となります「四ツ屋地区民登山」を7月20日に実施し、今回、初めて参加した方2名を含め14名が参加をしております。

山頂に向かうにつれて晴れ間がみられ、天候に恵まれた登山となりました。下

山途中の「八幡沼」で昼食をし、休憩を多めに取りながら、全員が無事、下山しております。帰りの途中では、後生掛温泉で登山の疲れを癒し、笑顔で帰路につきました。来年の地区民登山は、鳥海山を予定しております。

花館公民館は、以上です。

伊藤教育長

次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長

神岡中央公民館は7項目記載しておりますが、5の「ふるさと探訪楽園ツアー」について説明いたします。

7月23日、神岡中央公民館と大綱交流館合同で「神岡・西仙北の地元企業訪問ツアー」を開催し、21名の参加がありました。神岡地域のナガイ白衣工業、西仙北地域の秋田今野商店を訪問し、普段なかなか見ることのできない施設内を見学させていただきました。

参加者の大半は大人でしたが、小・中学生の参加もありました。いずれの企業からもとても丁寧な対応をしていただき、参加者アンケートでは「初めて知ることが多かった」「地元の企業を誇りに思った」などの感想がありました。

神岡中央公民館からは、以上です。

伊藤教育長

次に大綱交流館長は欠席ですので、生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長

大綱交流館では、5つの項目を記載しておりますが、そのうち項番4の「おはなし会・親子教室『みんなでクッキング』」についてご説明いたします。

「おはなし会・親子教室『みんなでクッキング』」は、明日7月26日（土）に大綱交流館を会場に開催する予定です。

まず、パンの出ってくる絵本の読み聞かせを行います。次に、絵本「パンしろくま」に出ってくるクマのパンを親子で作ります。オーブンでパンを焼いている間に、もう一度絵本の読み聞かせを行います。出来上がったパンをみんなで食べて解散となります。

大綱交流館の説明は、以上でございます。

伊藤教育長

次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

中仙公民館は、記載の5項目のとおりです。



5 番の「座禅にチャレンジ」を 7 月 30 日の夏休み期間中に開催予定です。

児童生徒の健全な心と体を育むことを目的に、青少年育成中仙地域会議との共催で事業を実施いたします。今日現在で 7 名のお申し込みをいただいている状況です。参加者には記念品を贈呈する予定となっております。

中仙公民館は、以上です。

伊藤教育長

次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長

協和公民館では、11 項目記載してございます。

5 番の「ふるさと探訪ツアー」でございますけれども、こちらの方、児童の参加者が 6 人増えて 12 名の参加となっております。物部博士提唱の構造によって作られた協和ダムを見学し、その後、物部記念館を視察しまして、それから、大盛館と協和地域を探訪いたしました。

協和公民館からは、以上です。

伊藤教育長

次に南外公民館長は欠席ですので、生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長

南外公民館は、4 項目記載しております。

2 項目の南外地域熟議では、教職員、保護者等 28 名が出席いたしました。「南外の子供に私たちが伝えたいこと、体験させたいこと」をテーマに話し合いました。「自分で地域を歩き学ぶことで地域に自信を持ち、自分にも自信を持つこと」などの意見が出ました。

4 項目目の全県 550 歳野球大会は、明日から 3 日間、南外山村運動広場を主会場として南外地域と神岡地域の 3 球場での開催を予定しております。出場チームは、昨年度の全県 500 歳野球大会と前回の 550 歳野球大会の成績などから 16 チームが選抜されており、大仙市内からは 3 チームが選抜されております。

熱中症対策を取りながら進めてまいります。多くの皆様から観戦、応援していただきたいと思います。

南外公民館は、以上です。

伊藤教育長

次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長

仙北公民館は、8項目あげております。

4つ目の仙北地域一斉ラジオ体操についてです。

この事業は平成4年から続いてきた事業で、夏休み中も、規則正しく生活しましょうということで、例年、夏休み初日の朝6時半から、仙北球場で、地域住民も一緒になって実施してきたものであります。

今年はカレンダーの関係で19日に実施いたしました。久しぶりに仙北球場での開催となり、およそ280人の方から参加いただきました。

当日の模範演技は、地域内7つのスポーツ少年団から2人ずつ出してもらい、加えて、スポーツ推進委員にも協力いただいております。

土曜日ということもあり、スポ少に所属している子どもたちは、それぞれのユニフォームやジャージ姿で、練習や試合に行く前の、ウォーミングアップのような感覚で参加してくれたり、眠い目をこすりながら、手を引かれてくる様子のお子さんも伺えました。

昨年度は雨ふりで急きょ体育館に変更しましたが、参加者は300人でした。

今年は晴天だったので、昨年の数字を超えるかと期待しておりましたが、3連休の初日ということでお出かけなのか、土日は、ラジオ体操を休む子ども会もあるので、それでなのか、あまり意識をしていないのか、昨年の数字には届きませんでした。

参加者は子どもたちが多いわけですが、ラジオ体操は、いつでも・どこでも・誰でも手軽に取り組める体操ですので、少子高齢化の今、子どもに限らず、地域の方々の健康意識向上の第一歩としても、継続して参りたいと思っております。

仙北公民館は、以上です。

伊藤教育長

最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長

資料5ページです。

太田公民館は、8項目掲載しております。

うち8番、「太田キッズ学びい教室」について、ご説明いたします。

夏休み中の小学生を対象とした「太田キッズ学びい教室」は、児童が自分で勉強したい、教わりたい問題やテキスト・問題集を持参し、一般と高校生のボランティアが手助けして勉強を深める学習会です。

今年度は7月30日と31日の2日間、午前9時35分から午前11時まで、太田文化プラザで開催します。児童を高学年と低学年にグループ分けし、ボランティアが1つのグループに複数で指導にあたるよう配置します。

参加者ですが、小学生が48名、2日間で、延べ87人が参加予定となっております。またボランティアは、一般の方が5人、高校生が15人、参加予定となっております。

「太田キッズ学びい教室」を通して、苦手教科の克服や学習意欲の向上を図ることを期待しています。

太田公民館からは、以上です。

伊藤教育長

ありがとうございました。

各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきました。

ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

伊藤勝良委員

学校訪問の際に、ホームページを拝見させていただきましたが、去年までは学校単位でやっていて多分今年からだと思うのですが、各学校で統一されたシステムを使っているような感じかなという風に思っていました。

スマホでもパソコンで見ても見やすい感じですし、ブログ形式で投稿したりすることもできるので、先生方も扱いやすいのかなと思いました。

以前、ホームページについて話をさせてもらったことはありますけれども、大変いいものができたなと思って、それで、感想と言いますか、ありがとうございます。

伊藤教育長

ありがとうございました。統一したのは去年の秋ですか。

教育委員会事務局長

そうです。「統合型校務支援システム」が始まって同じシステムになっております。

伊藤教育長

「統合型校務支援システム」を入れたタイミングで全てリニューアルして揃えたということであります。

ありがとうございました。他にはございませんか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいですか。それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。

次に、付議案件に入ります。

議案３４号「大仙市学校運営協議会委員の任命に関する臨時代理について」を議題といたします。教育指導課長から説明をお願いします。

教育指導課長

それでは、議案第34号「大仙市学校運営協議会委員の任命に関する臨時代理」について御説明いたします。

会議資料は8ページから15ページになります。

学校運営協議会とは、学校が育てたい子ども像や目指すべき教育のビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けて共に協働していく仕組みであり、合議制の機関であります。

本案は、「大仙市学校運営協議会の設置等に関する規則」第3条及び第6条の規程により、10ページから14ページの名簿の方々を学校運営協議会委員として委嘱するものでございます。委員は157名で、任期は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までとなります。

よろしくご審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

伊藤教育長

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

はい、お願いします。

小笠原委員

委員の皆様方には頑張っていたきたいと思いますけれども、太田地域はまだ学校ごとの委員制度で、他の地域では地域全体という形になっているかと思うんですね。

地域全体になった方は、支所長さんにも委員になっていただいているということで、大変喜ばしいことだと。行政と一緒にやるにはやはり支所長さん、公民館長さんの力は大きいと思いますので。

それで、この後、太田地域は支所長さんを加えるという、そういう意向はあるのでしょうか。

教育指導課長

はっきりとは確認できておりませんが、今委員からありました方向へ進んでいくように推進していきたいと思います。

伊藤教育長

他に何か情報がありますか。

生涯学習課長

今のところ、まだその支所長も含めた振り返りという形では話は進んでいな

いのですが、いずれは当然行政の部分も、地域と学校と行政というところの関わりは出てくると思いますので、そうしたところは今後、その状況に応じて委員の方も入れ替わりで進めていく必要があるのかなという話が出ていますけれども、今現在、具体的にはまだそこまで決まっていない状況です。

伊藤教育長

はい、ありがとうございました。そもそも学校運営協議会、なかなか馴染みのない言葉で、多分新しい方はなかなか難しいかなと。

コミュニティ・スクールという言葉も実はございまして、そこらへんについては、今日この後の協議会資料で少しは出てきますが、コミュニティ・スクール、学校運営協議会制度というものと、それから地域学校協働活動という国が力を入れている政策がございまして、それを各市町村が取り入れるという動きが全国にあります。

また、補足説明しますと、これは地域ごとに導入しておりまして、後ほど協議会で説明しますが、実はまだ大曲地域では導入されていない制度で、太田地域からスタートして順番にやってきているという形で、市の全てには導入できていない制度でありますので、そういったところも含めて、後日、共通理解の場を設けますので、ここはこの程度の説明とさせていただきます。

他に何かございませんでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。それでは、本案は報告のとおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

ありがとうございます。それでは、御異議なしと認め、本案は報告のとおり承認することとします。

次に、議案第35号「教育に関する事務の点検・評価報告書案について」を議題といたします。教育総務課長から説明をお願いします。

教育総務課長

それでは、議案第35号「教育に関する事務の点検・評価報告書案」についてご説明いたします。会議資料は16ページ、そして別に配付の資料ナンバー1「教育に関する事務の点検・評価報告書（案）」となります。

資料ナンバー１の１ページをご覧ください。

１の「点検・評価の趣旨」についてですが、この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条の規定により、毎年、教育事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果を報告書として取りまとめ、議会に提出するとともに公表することを義務付けられているものです。

次に、２の「点検・評価の実施方法」についてです。（１）の点検・評価の対象とした事務は、令和６年度に実施した事業のうち、任意で選定した１５事業を対象といたしました。（２）の「点検・評価の方法」ですが、選定した１５事業について、それぞれの担当課が資料６ページ以降にあります「事務事業の点検・評価表」を作成して自己評価を行うとともに、外部評価委員２名による評価をいただいております。外部評価委員には、元大仙市の職員で、在職中は長く教育指導課に在籍されておりました中村隆一氏、そして、太田東小学校の校長をされておりました相澤文彦氏のお二人をお願いいたしました。

２ページをご覧ください。３の「教育委員会の活動に関する事務」についてです。（１）教育委員会の会議につきましては、定例会のほか臨時会を２回、計１４回開催いたしました。このうち９月の定例会は、南外コミュニティセンターにおいて移動教育委員会として開催いたしました。また、議案件数については、年度として３７件であります。

４ページをご覧ください。教育長と委員の活動状況及び研修状況を記載しております。市内全３０校の小・中学校の入学式・卒業式への出席や、公民館訪問、学校訪問をしていただいております。また、委員研修として、９月２５日に「南外民俗資料交流館」を視察しております。

５ページをご覧ください。４の「総合教育会議の開催状況」についてです。総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき市長が設置するもので、市長と教育委員会が、教育の課題やあるべき姿を共有し、意見交換する場であります。昨年度は令和７年２月５日に開催され、１案件について協議しております。

６ページから３１ページは、先ほど申し上げました１５事業の「事務事業の点検・評価表」になります。外部評価委員会は６月３０日に開催し、１事業ごとに目的、実施状況、自己評価及び課題を説明し、その後２人の委員から質問や意見をいただきました。そして、後日両委員からいただいたそれぞれの事業についての評価と、３２ページから３３ページには総評を載せております。

各事業の評価についてですが、特に各地域公民館における事業について高い評価をいただいております。一方で、課題をいただいた事業もあり、今後の改善に向けた貴重なご意見として、各課所において検討してまいります。

総評におきましては、誕生２０周年を迎えた大仙市の今後の新たな事業展開と、学校・家庭・地域の連携の中での住民同士あるいは大人と子どもが繋がることのできる機会の提供について、期待をいただいております。

各課・所・館においては、今回評価いただいた事業にとどまらずに、人口減少・

少子高齢化社会を見越した、これまでの実施形態にとらわれない発想で、着実にそして積極的に事業を展開していく必要があるものと考えております。

以上、ご説明申し上げましたが、今年度の「教育に関する事務の点検・評価報告書」としてご承認いただきますよう、よろしくご審議の程お願いいたします。

伊藤教育長

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

はい、お願いします。

小笠原委員

感想になりますけれども、この点検・評価表で、4番の「学校施設改修事業」について、外部評価委員から、評価の方法として学校の要望に対してどうであったかというような視点が必要という評価をいただいております、私もそうだなと思ったところです。

学校の要望を全てあげるわけではないけれども、主な要望に対して応えられたかどうかという視点は、非常に大きな評価ではないかなということを1つ感じました。

それから、5番の「学校・家庭・地域連携推進事業」について、先ほど教育長から、この後、協議会等でコミュニティ・スクールとか、そういうものをしっかり勉強しましょうという提言をいただきましたので、この事業に関しても外部評価委員からあったとおり、具体的事業とそれをどう行っているかということも記されると、もっと一般市民にも分かりやすいのではないかというご意見だと思いますので、ここのところもその通りだなということを感じました。

以上、2点です。

伊藤教育長

はい、ありがとうございます。

担当からコメントがあれば、お願いします。

施設管理課長

はい。施設管理課の評価について、ご意見ありがとうございます。

委員のおっしゃるとおり、各校の要望全てに応えられていないような現状でございますけれども、今後はそういったところを踏まえた評価表の作成を検討してまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。

生涯学習課長

はい。生涯学習課です。

「学校・家庭・地域連携推進事業」でありますけれども、やはりこの評価表に

ある文字だけの説明でありますと、なかなかわかりにくい部分でありまして、地域・学校の繋がりづくりでありますとか、人づくりというところから子供たちをどう育てていくかというような事業ではあるんですけども、なかなかこう結果がはっきりと見えない部分もありますので、そうした中で、やはりその取組の一例を発表することで、具体的にそれが見える化されるのかなというところもありましたので、そうしたところを心がけて、今後、その具体的な取組状況についてご報告したいと考えております。

よろしくお願いいたします。

伊藤教育長

いただいた意見をしっかり受け止めて、次の対応を考えてまいりたいと思います。

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。それでは、本案は説明のとおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

ありがとうございます。それでは、御異議なしと認め、本案は説明のとおり承認することとします。

次に、議案第36号「大仙市教育支援委員会委員の委嘱について」を議題いたします。教育指導課長から説明をお願いします。

教育指導課長

それでは、議案第36号「大仙市教育支援委員会委員の委嘱について」ご説明申し上げます。資料は17ページから19ページとなります。

教育支援委員会とは、教育上特別な配慮を要する児童生徒に対し、適切な就学支援等の教育支援を充実させるために置く委員会であります。

本案は、大仙市教育支援委員会規則第3条の規程により、18ページの名簿の方々を教育支援委員会委員として委嘱しようとするものでございます。委員は29名で、任期は、令和7年8月1日から令和8年7月31日までとなります。

よろしくご審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

伊藤教育長



ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。それでは、本案は説明のとおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

ありがとうございます。それでは、御異議なしと認め、本案は説明のとおり承認することとします。

次に、次第の5番、その他に入らせていただきます。

8月の定例記者会見で発表する事業について、教育指導課、生涯学習課から説明させていただきます。はじめに、教育指導課長お願いします。

教育指導課長

それでは、「大仙市中学生サミット」についてご説明いたします。

資料ナンバー2の1ページになります。8月7日（木）ふれあい文化センターにおいて開催します。

メインテーマは「大仙市の未来は私たちがつくる」であり、今年度は活動テーマを「SDGsプロジェクト ～私たちがつなぐ 未来へのバトン～」と設定しました。

サミットでは各校の生徒会がSDGsをキーワードに実践している活動について紹介し合うとともに、これまでの活動を未来につなげていくための方策についての意見交換を行う予定となっております。また、希望する小学校の代表児童も当日の様子を参観する予定となっております。教育委員の皆様にも、ぜひ当日の児童生徒の様子をご覧いただければと思います。よろしくお願いいたします。

伊藤教育長

続いて、生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課からは2件でございます。

はじめに、「大仙市二十歳を祝う会」についてご説明いたします。

資料は、資料ナンバー２の２ページになります。

今年度の「大仙市二十歳を祝う会」ですが、令和７年８月１５日午前１０時から大曲市民会館で開催いたします。

平成１６年４月２日から平成１７年４月１日生まれの市内出身者および年齢要件に該当する現在大仙市にお住まいの方が今年度の対象となります。対象者数ですが、あくまで参考となりますが、市内中学校卒業生が６３８人となっております。

会の詳細は資料囲みの部分に記載しておりますが、大仙市消防団音楽隊によるオープニング演奏で幕を開け、お祝いの式典、そしてアトラクションという流れで執り行われます。式典では、市長、ご来賓、実行委員長挨拶のほか、実行委員による誓いの言葉などが予定されております。また、式典終了後のアトラクションでは、二十歳を祝う会実行委員会考案のクイズ大会や、先日、大音郷２０２５でも出演いただいた、大仙市協和地域出身・在住の「齊藤真生」さんによる弾き語りステージなども行われる予定となっております。

この会を通じて、共に学び、親しんできた友人と再会し、思い出話に華を咲かせながら、ふるさと大仙の良さを改めて感じていただけることを期待しております。

続きまして、資料３ページから４ページをご覧ください。

「第２１回大仙市民交流囲碁大会」並びに「第１８回大仙市子ども囲碁大会」についてご説明いたします。

今年度の囲碁大会ですが、令和７年９月７日（日）に大曲交流センターを会場に開催いたします。

両大会ですが、昨年度まではそれぞれ別日に開催しておりましたが、近年は大会参加者が減少傾向にあることや、スムーズな大会運営なども考慮し、今年度から両大会を同日・同会場で開催することとしております。

大会の詳細ですが、「第２１回大仙市民交流囲碁大会」については３ページ、「第１８回大仙市子ども囲碁大会」は、４ページにそれぞれ記載しておりますので、後程ご覧ください。

両大会を同日開催することで、次世代の囲碁文化継承者育成とその交流振興も図られることが期待されますので、世代や地域を越え多くの方からご参加いただけたらと考えております。

生涯学習課からの説明は以上となります。

伊藤教育長

ありがとうございます。「二十歳を祝う会」は、実行委員の方の意見を尊重しながら会の中身を整えるということでありましたので、もしよろしければ、ぜひ参加いただければなというふうに思います。

ただいまの説明について、委員の皆様からご質問等ございませんでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。

それでは、その他この機会に委員の皆様から何かございませんでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。

では、教育総務課から次回の日程等についてお願いします。

教育総務課長

次回定例会は、8月20日水曜日午後3時30分から、こちら大会議室で開催いたしますので、ご都合方よろしくお願いいたします。

伊藤教育長

次回定例会は、8月20日水曜日、午後3時30分から、ここ大会議室にて開催、としての提案です。皆様、よろしいでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

では、次回定例会は、そのように予定いたしますので、よろしくお願いいたします。

なお、引き続き「協議会」を開催しますので、皆様そのままお残りください。

本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じます。

ありがとうございました。お疲れ様でした。